

目の教室だより



そろそろ冬支度

11月号

練馬区立中村西小学校目の教室
03-3990-4254
(目の教室直通)

晩秋の風が吹き抜ける季節となりました。日に日に冬の足音が近づいてくるように感じられますが、秋の味覚を楽しむ最後の機会でもあります。栄養バランスのとれた食事健康にも留意していきたいですね。

在籍校訪問へのご協力、ありがとうございました。在籍校の先生方には、運動会や日々のご配慮に感謝しております。

11月はどちらの学校も展覧会、音楽会、学習発表会などの行事が予定されているようです。中村西小でも12月に学芸会が予定されています。大きな行事に向けて一生懸命活動に取り組むことで、子供たちはぐんぐん力を伸ばしていきます。目の教室でも、このような子供たちの頑張りを応援していきたいと思っています。

このところの急な気温低下の影響か、咳き込む児童が見られます。インフルエンザもまだ心配される状況です。睡眠時間を多めに取るなど、健康管理をよろしくお願いします。

「弱視児童・生徒の将来への展望」学習会

11月8日(土) 開進第三中学校にて、愛知教育大学 准教授 相羽大輔先生をお迎えし、学習会が行われました。

相羽先生は都内の小学校に在籍し、弱視通級指導学級に通級されていたそうです。ご自身の子供の時や大学時代の「しくじり」経験を、分かりやすくお話してくださいました。また、小グループで、学校で困った出来事を話したり、「あの時代の相羽君にアドバイスするならどんなことを伝えてあげる？」をテーマに話し合ったりもしました。その後全体に分ち合い、参加者がどんな時に困り、困ったときにはどうしているかを知る機会にもなりました。



懇談の時間には、感想や質問がいくつも出されました。合理的配慮は積み重ねが大切で、小学校時代から実績を作ることでの後の受験での配慮につながることや、弱視者の就業の機会が広がり300種と多岐に渡る職業に就いているデータが上がっていること、障害者雇用枠の利用等就業に関するお話もありました。

会の終わりには、目の教室の児童みんな協力して作ったコースターについて6年生が紹介し、相羽先生にプレゼントしました。そして、昨年度の卒業生が参加者を代表して終わりの言葉を伝え、学習会が閉じられました。

会が終了した後も、卒業生やその保護者、旧担任や旧支援員の参加もあり、あちこちでお話が続いていました。またこのような機会があるなら、参加したいという言葉も耳にしました。つながりを大切にしたいという思いを、大変嬉しく思います。ありがとうございました。